

1. 議事日程（第18日目）

日程第 1 一般質問

1. 宮下 昌子
 - (1) 施政方針について
 - (2) 包括的民間委託方針について
 - (3) 学童保育（放課後児童クラブ）について
 2. 田中 万里
 - (1) サイクルツーリズムの更なる推進について
 - (2) 市長マニフェストの令和5年度予算への反映について
 3. 木下 文宣
 - (1) 姫戸地区の振興策について
 - (2) 第2次上天草市一般廃棄物処理基本計画について
 - (3) 県道松島馬場線の改良工事について
-

2. 本日の出席議員は次のとおりである。（12名）

議長 桑原 千知		
1 番 北垣 洋	2 番 井手口隆光	3 番 木下 文宣
4 番 何川 誠	5 番 塩田 真一	6 番 嶋元 秀司
7 番 田中 辰夫	8 番 何川 雅彦	9 番 宮下 昌子
10 番 西本 輝幸	15 番 田中 万里	

3. 本日の欠席議員は次のとおりである。（2名）

11 番 高橋 健	12 番 小西 涼司
-----------	------------

4. 会議事件説明のため出席した者の職・氏名

市 長	堀江 隆臣	副 市 長	村田 一安
教 育 長	高倉 利孝	総 務 部 長	山下 正
市 民 生 活 部 長	水野 博之	経 済 振 興 部 長	山本 一洋

企画政策部長	坂田 結二	建設部長	岩永 裕一
健康福祉部長	濱崎 裕慈	水道局長	桑原 成明
上天草総合病院事務部長	須崎 朝幸	教育部長	赤瀬 耕作

5. 職務のため出席した者の職・氏名

議会事務局長	山川 康興	局長補佐	山崎 大勝
主 幹	四丸 雄介		

開議 午前10時00分

○議長（桑原 千知君） おはようございます。

出席議員が定足数に達しておりますので、これから本日の会議を開きます。

本日、高橋健議員と小西涼司議員から欠席の申出がありましたので報告します。

日程第 1 一般質問

○議長（桑原 千知君） 日程第1、一般質問。

通告がっておりますので、順次、発言を許します。

9番、宮下昌子君。

○9番（宮下 昌子君） おはようございます。

9番、日本共産党、宮下昌子です。今日は、通告しております順番を少し変えて、まず、施政方針。そして、学童保育。最後に、民間委託方針についてお尋ねをいたします。

まず、施政方針についてですけれども、コロナ感染症については、政府の方針で、5月連休明けからインフルエンザと同じ5類に引下げということで、今後は、ウィズコロナということになります。市としても、落ち込んでいた観光業や経済に期待をされているということが施政方針で伝わってまいりました。魅力あるまちづくりをさらに進めるということでした。上天草市は、これまで観光には力を入れてこられ、大きな投資もされてきました。松島町の前島、今後は、樋合や大矢野の宮津地区など開発事業が進んでいくのでしょうか。

令和5年新年度の予算については、予算総額は約211億7,000万円で、前年度比8.8%、約17億円の増です。合併特例債の期限ということで、特例債を使った事業が多くなっています。総額は約21億円。大きなものは、松島総合運動公園改修6億2,000万円、大矢野中校舎改修6億円、大矢野総合スポーツ公園グラウンド改修1億2,000万円、グラウンド照明改修1億1,000万円などです。返済に有利な合併特例債ということですが、紛れもなく借金であり、人口減少と高齢化は止まらず、税収も大きく増えることは期待出来ず、返済は大丈夫かなと心配もいたしますが、今日は、

施政方針の中の社会保障分野、中でも高齢者対策についてお尋ねいたします。

令和4年度の施政方針でも同じように述べられていますが、まず、4年度にやり残したこと、新年度で新たにに取り組むことは何でしょうか、お尋ねをいたします。

○議長（桑原 千知君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（濱崎 裕慈君） おはようございます。よろしくお願ひいたします。

高齢者施策につきましては、上天草市高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画に基づき、基本理念でございます高齢者が住みなれた地域で健康に安心して暮らせる支え合いのまち上天草を目指し、様々な事業に取り組んでいるところでございます。

令和4年度の取組みにつきましては、課題が残る事業もありますが、全体的に大きな問題もなく、おおむね進捗しており、令和5年度においても、引き続き既存事業を推進していくこととしております。

令和5年度の新たな取組みとしましては、熊本県後期高齢者医療広域連合からの委託により、高齢者の医療の確保に関する法律に位置づけられております健康寿命の延伸と社会保障費の安定を目的としました高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業に取り組むこととしております。この事業につきましては、国保から後期への移行後も継続した保健事業を効率的・効果的に実施し、介護予防の観点からも、通いの場等での健康教育や相談、加齢により心身が衰えた高齢者の把握・支援を行うなど、本市の健康課題をもとに、保健事業と介護予防を一体的に実施するものでございます。

以上でございます。

○議長（桑原 千知君） 宮下昌子君。

○9番（宮下 昌子君） 今、大まかに、少し課題は残るが、おおむね進捗しているということで答弁いただきましたが、例えば、具体的に少しあれば、2、3教えていただければというふうに思いますが、令和4年度の取組と5年度の方針。

○議長（桑原 千知君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（濱崎 裕慈君） 具体的な事業でございますか。

○9番（宮下 昌子君） 令和4年度の取組んだ事業と5年度ので具体的にあれば、例えば、今もやられている生活支援コーディネーター制度とか、いろいろあると思いますが。

○健康福祉部長（濱崎 裕慈君） 失礼しました。それではお答えします。

令和5年度の施政方針にも掲げております主要事業でございます生活支援体制整備事業、それと、介護予防事業の取組状況及び今後の方針等について御説明させていただきたいと思ひます。

生活再生支援事業につきましては、高齢者の日常生活上の支援体制の充実強化及び社会参加の推進を図るものでございます。生活支援コーディネーターや協議会による地域のニーズや資源の把握、地域課題の提起及び解決に向けた協議などを通して、住民による支え合い活動の機運が高まっているところでございます。また、生活支援ボランティア推進員である地域おこし協力隊員のSNSを活用した地域活動の情報発信や講演活動を通して、地域づくりに対する住民意識の醸

成につながっているところでございます。

令和4年度につきましては、新たに地域の居場所としまして、姫戸地区の西川内ふれあい広場及び龍ヶ岳地区の認知症カフェが立ち上がった一方で、高齢者のごみ出しや買物支援など課題がある地域もあることから、令和5年度においても、有償無償の生活支援ボランティア組織の立ち上げに取り組んでいくこととしているところでございます。

次に、介護予防事業につきましては、住民主体の通いの場をはじめとした地域の介護予防活動の取組を推進しております。住民主体の通いの場につきましては、事業開始から5年が経過しております。地域によって偏りはございますが、市内全域に通いの場が立ち上がっている状況でございます。今般のコロナ禍において、活動の自粛や縮小が見られましたが、感染予防対策に関する情報提供や必要な物品の購入支援等によりまして、現在では大半の通いの場が再開をしているところでございます。

課題といたしまして、参加者の高齢化、後継者不足、活動のマンネリ化などにより、継続が困難となる事例が見受けられますから、新たな介護予防プログラムの提供及び通いの場同士の情報交換や交流の場づくり等の支援に取り組んでいくこととしているところでございます。

以上でございます。

○議長（桑原 千知君） 宮下昌子君。

○9番（宮下 昌子君） 今、少し答弁いただきましたが、令和4年度の施政方針の中でも、支援体制整備ということで、生活支援コーディネーターや地域おこし協力隊員の協力を得て、有償無償の生活支援ボランティア活動の立ち上げ支援を進めるとありました。

私が住んでいる姫戸地域でも、この生活支援コーディネーターの方などが定期的に集まっております。いろいろしておられると思いますが、この事が進む、有償無償ということですが、この立ち上げが進んでいる地域とそうでない地域とあるかなとは思いますが、有償でワンコインで何かをしておられるとかいうお話も聞いたんですけど、進んでいるところはどこがあるのかはわかりますか。一つ二つでいいですから。

○議長（桑原 千知君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（濱崎 裕慈君） 現在、活動を行っている団体といたしまして、有償でございますと、湯島地区において、ふれあいサポート湯島ということで、地域通貨を利用した有償ボランティアによる生活支援サービスを提供しております。それと、大矢野町の前平地区におきまして、ワンコインサービスということで、こちらにおいても有償ボランティアによる生活支援サービスの提供を行っております。

それと、無償のボランティアといたしまして、樋合の永浦地区のひとりじゃないよ！なでしこ会という団体がございます。こちらで同じく生活支援サービスの提供を行っているところでございます。

○議長（桑原 千知君） 宮下昌子君。

○9番（宮下 昌子君） コロナの拡大がありましたので、なかなか進んでないところもあるか

などと思いますが、ぜひ、そういう実績があるので、そういう実績をされているところのいいところを学んで、全地区でこういうことが進んでいけばいいのかなと思います。

9日の文教委員会において、第4期上天草市地域福祉計画、地域福祉活動計画案が示されました。施政方針でも、その計画に基づき、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支えながら自分らしく活躍できる地域共生社会の実現を目指すという発言をされました。高齢者対策に限れば、具体的に、どんなことかを少しお話しいただけますか。

○議長（桑原 千知君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（瀨崎 裕慈君） まず、御質問の地域共生社会の実現についてということで御説明をさせていただきたいと思います。

ただいま議員からもお話がございましたけども、本市の地域福祉計画のさらなる推進を図るため、本年3月に策定予定の第4期上天草市地域福祉計画、地域福祉活動計画に基づく取組を推進することにより、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら自分らしく活躍できる社会の実現を目指すこととしております。

本計画につきましては、基本理念である住みなれた地域で安心して暮らせる支え合いのまち上天草の実現に向けて、共に助け合い支えあうまちづくり、充実した福祉サービスのまちづくり、安心して暮らせるまちづくりの三つの基本目標を定めまして、各施策の取組を推進することとしており、各施策には、子育て支援をはじめ、高齢者・障害者及び生活困窮者等における取組みを掲げているところでございます。

その中で、高齢者に関する主な取組としまして、先ほど申し上げました生活支援体制整備事業、それと、ひとり暮らしの高齢者等に緊急通報装置を貸与することにより、急病や災害等の緊急時に速やかに対応する在宅高齢者安心生活支援事業、緊急通報システムになります。

それと、高齢者の生きがいを高め、健康づくりを進める活動やボランティア活動を初めとした地域を豊かにする活動を推進します老人クラブ活動支援事業などがございまして、先ほど答弁させていただきましたけども、個別計画として位置づけております上天草市高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画に基づいて、引き続き取り組むこととしております。

○議長（桑原 千知君） 宮下昌子君。

○9番（宮下 昌子君） 分かりました。高齢者福祉ということで、多様な日常生活上の支援体制の充実強化ということで述べられておりますが、あっぷあっぷサロンなどもそうだと思いますが、私がこれまで質問で取上げてきた補聴器購入補助や冷暖房費補助などの支援について、今どういうお考えかというのをお聞かせください。

○議長（桑原 千知君） 健康福祉部長。

○9番（宮下 昌子君） 時間が足りませんので、簡単をお願いします。すいません。

○健康福祉部長（瀨崎 裕慈君） 補聴器につきましては、加齢性難聴ということになるかと思いますが、この加齢性難聴につきましては、誰にも起こりうる可能性があり、機能低下が見られる高齢者全般に関わるものであるということで、全国市長会においても、国の施策とし

て実施するよう要請をしているところでございます。

市としましては、加齢性難聴の特性を考慮しまして、引き続き、全国市長会を通じて、国に対して補助制度の創設を求めるとともに、市独自の補助制度創設の可能性について、国の動向や財政負担を勘案しながら検討していきたいと考えております。

それと、冷暖房補助につきましても、補助を実際行っている自治体もございますけれども、こちらについても、国県の施策の動向を注視しながら、他の自治体の取組状況等を検証して、その必要性について検討していきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（桑原 千知君） 宮下昌子君。

○9番（宮下 昌子君） 特に、加齢による難聴についてですけれども、人とのコミュニケーションがとれないということで、高齢者が家に閉じこもりがちになったり、認知症が進むとも言われています。今、全国では、昨年7月に35自治体だったのが、今、120自治体へと広がっています。これは、全日本年金者組合の大阪本部が調べたということですが、部長から、必要性について検討するということですので、他の自治体の状況なども調査いただき、ぜひ、上天草市でも実現できるように前向きに検討をしていただきたいと思います。

次に移ります。学童保育についてですけれども、上天草市における学童保育の現状についてお伺いします。

学童保育は、大人の見守りの中、これは専門性を持った指導員ですが、見守りの中で子供たちが遊んだり、宿題をしたり、安心して過ごせる環境を提供する施設です。今の子育て世代は、祖父母との同居が少なくなり、共働き世帯がほとんどです。ひとり親世帯もあります。全国学童保育連絡協議会は、毎年5月1日現在の放課後児童クラブ実施状況を調査しています。少子化が進む中でも、学童保育数と入所児童数は微増という結果です。全国では、施設数が足りず、待機児童もいたり、不十分な施設環境など問題になっているところもあるようです。各自治体の裁量で施設や運営に大きな違いもあるようですが、上天草市の場合、児童数もそんなに多くないので、そういう問題はないかなと思います。運営も公営が減り、社協やNPOなどへの委託が増えています。

上天草市も、直営ではなく委託事業です。現状がどうなっているのかをお伺いしたいのですが、ちょっと時間が足りなくなりましたので、前もっていただいた資料で施設数とか児童数とかいうのが分かりました。11施設ぐらいあるようですけれども、その学校の施設内でしているところと、そうじゃないところと、それと、人数が多いところ、少ないところ様々あります。

厚労省は、支援の単位は、子供1人につきおおむね1.65平方メートル以上の広さと専任職員2人以上というふうに、一定の規模の児童数は、おおむね40人以下ですが、であることが定められています。

各クラブの登録数というのも、事前にいただきましたけれども、40人を超えているクラブも複数あります。指導員の専門性や配置基準は守られているのかをお伺いします。

○議長（桑原 千知君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（濱崎 裕慈君） 放課後児童クラブの設備及び運営の基準につきましては、放課後児童クラブの事業実施の認定の際に、認定申請書等の内容を審査の上、全ての放課後児童クラブが適正であることを確認しているところでございます。

○議長（桑原 千知君） 宮下昌子君。

○9番（宮下 昌子君） 事業実施の認定の際に確認してあるということですけども、例えば、4月始まりでした。この各施設を認定審査はちゃんと通ってはいるんですけども、1年間のうちの途中で状況がどうなのかというようなことを確認したりというのはあるのでしょうか。また、コロナ流行で感染防止のためにも基準があるとはいえ、より少ない人数の保育のほうが望ましいとも思いますが、コロナ感染拡大後の対応はどうなっているのでしょうか。

○議長（桑原 千知君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（濱崎 裕慈君） まず、調査のほうでございまして、先ほど答弁させていただきましたが、認定の際に、適正かどうかという確認を行っておりますけども、定期的な調査等は現在行っていないところでございます。毎月提出を義務づけております事業実施状況報告書により、利用児童数や活動内容等を確認しているところでございますが、より適正な事業の実施及び課題等の把握のために、年1回の現地調査などの必要性があるとは考えております。

それと、コロナ感染防止対策につきましては、それぞれの放課後児童クラブにおいて、事業実施にあたりましては、基本的な感染防止対策に取り組んでおります。市としましては、国の交付金を活用して、マスクや消毒液、空気清浄機などの購入支援を行ったところでございます。

以上でございます。

○議長（桑原 千知君） 宮下昌子君。

○9番（宮下 昌子君） 年1回の調査を必要であると思っているということですので、ぜひ、今後は、途中でそういう調査をしていくことも必要かなと思います。支援員の処遇改善ですけども、この支援員の皆さんというのは、非正規雇用も多いのではと思うんですけども、その事業者が雇っている人だから、ちょっとその辺ははっきり分からないんですけども、給料もそんなに多くはないというふうに思います。

昨年3月に、厚労省子ども家庭局からの事務連絡で、放課後児童支援員等処遇改善等事業の交付額の算定についてという文書が来ていると思うんですけども、保育園なんかは、昨年9,000円だったかな、ここでも提案があって上がりましてけれども、支援員の賃金も同じように、9,000ぐらい上がったんでしょうか。その辺をちょっと確認したいと思います。

○議長（桑原 千知君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（濱崎 裕慈君） 放課後児童支援員の処遇改善についてでございますけども、市としましては、先ほど議員おっしゃいましたけども、国の交付金を活用しまして、令和4年2月から、収入を3%程度、月額9,000円ぐらいになりますけども、引き上げる賃金改善を行う放課後児童クラブに対して補助金を交付しているところでございます。

○議長（桑原 千知君） 宮下昌子君。

○9番（宮下 昌子君） 分かりました。次に、条例第8条で、職員は必要な知識及び技能の習得維持及び向上に努めなければならない。また、8条の2では、事業者は資質向上のための研修の機会を確保しなければならないとあります。どのように研修の機会を設けられているのか。また、市が実施する研修などはあるのかについてお伺いします。

○議長（桑原 千知君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（濱崎 裕慈君） ただいま議員御説明をいただきましたけども、条例におきまして、放課後児童健全育成事業者において、放課後児童支援員等の資質向上のための研修の機会を確保するように定められているということですので、現在は、市独自の研修は行ってないところでございます。市としましては、放課後児童クラブに対しまして、厚生労働省の放課後児童支援員の資質向上を図る基礎研修などや知識スキルを習得する熊本県の子供心のケア研修などの開催について周知を行っているところでございます。

○議長（桑原 千知君） 宮下昌子君。

○9番（宮下 昌子君） 県が主催する研修会をお知らせしているということですが、では、実際に、そこに参加された支援員の方たちがどれぐらいいるかとかいうのは調査してもらえるのでしょうか。

○議長（桑原 千知君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（濱崎 裕慈君） これまで把握したことはございません。それで、今般、熊本県に令和4年度の参加状況を確認させていただいたんですけども、参加がなかったということでお聞きしておりまして、改めて放課後児童クラブへ積極的な参加を促していきたいと考えております。

○議長（桑原 千知君） 宮下昌子君。

○9番（宮下 昌子君） なかなか支援員の皆さんも忙しいので、県が主催するのは、多分熊本市とかそちらであるんじゃないかと思うんですけども、なかなかそういうのに強制でない限りは参加するというのは難しい状況もあると思います。

しかし、支援員の皆さんが子供を預かってするということは、とても安全面とかでも大変なことなので、身近なところでいつでも参加できるような体制をとって、支援員の補助をすべきじゃないかと思うんですね。それで、そういうのが出来ていないのであれば、市としても、こういう研修会をするということは考えられないのでしょうか、今後。

○議長（桑原 千知君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（濱崎 裕慈君） 放課後児童クラブにおける職員に対する研修の確保の状況、あるいは、要望等を踏まえまして、今後必要かどうかを検討していきたいと思っております。

○議長（桑原 千知君） 宮下昌子君。

○9番（宮下 昌子君） ぜひ、支援員の皆さんが身近なところでそういう研修会に参加されるような体制を、責任ある行政として開くべきじゃないかと思っておりますので、ぜひ、検討をお願い

したいと思います。

また、この幾つかあったクラブですけれども、学校内の敷地内の校舎でしているところもたくさんありますが、事業を請け負っている保育園とかいうところもあります。一応、その事業者の責任でバスで移動したりはしてるんですけれども、徒歩で移動するところが二つあるんですね。一つは姫戸小学校、もう一つは龍ヶ岳小学校なんですが、姫戸小学校は小学校のすぐ隣にあります。小学校の校庭から行けるので、道路も多分通らなくても行けるかなと思うので、そんなに危険はないかなと思いますが、龍ヶ岳小学校の場合、近くの保育園まで移動しなければなりません。道路も旧国道ですけれども、渡らなければなりません。しかも、1、2、3、4年生が低学年です。安全面とかで少し不安があるんですけど、それを見ている地域の方も心配されています。この校舎内の空き教室などないのか。そこを校舎内の教室を使えないのかということについて、お伺いします。

○議長（桑原 千知君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（濱崎 裕慈君） 校舎内の教室の空き状況につきましては、市としてちょっと確認をしているところではございません。小学校等の空き教室について、利用できるように、活用できるように、教育委員会をはじめ学校との協議は行っているところでございます。

○議長（桑原 千知君） 宮下昌子君。

○9番（宮下 昌子君） ちょっと私が事前にいろいろ調べてみたんですけれども、何か学校のほうで、今、子供が学校の授業が終わったら、ある一つの家庭科教室だったっけ、そこに集合して、そこから歩いて行かれるそうですけれども、学校側の意向で、学校の教室が使えないというお話をお聞きしました。

国は、2014年に、学校施設の徹底利用で学童保育を増やす方針を決めています。さらに、2018年にも、新たに整備する場合は、学校施設に設置を80%という目標を掲げているんですね。それで、移動の必要がなく安全であるということや、校庭や体育館などの施設を活用できるということも長所に挙げています。

通告に教育長を指定してなかったんですけども、事前に教育長にお聞きしたいということで申入れしましたので、教育長にお伺いしたいんですけども、学童保育は厚生労働省の管轄ではありますが、学校が終わった後の子供たちを見守る場所です。子供たちの安全面を一番に考えなければいけないのではないかと思います。龍ヶ岳小学校の現状をどう考えておられるのか、見解をお聞かせください。

○議長（桑原 千知君） 教育長。

○教育長（高倉 利孝君） よろしく申し上げます。私の知っている範囲でお答えしますが、龍ヶ岳小学校は、まず、必要なのは空き教室なんですけれども、それが1階にはないんですね。職員室、保健室、特別支援教室ですから、ちょっとその学童クラブに使えるような空き教室がないということ。それから、学校を開放している上小学校と中北小学校は、独自の施設が出来て、他の教室等に行ったり来たりしなくて、子供が自由に出入りできるような環境にあります。

ですから、御存じのように、龍ヶ岳小学校は、もう1階から3階までどんと同じ直方体の建物です。

○議長（桑原 千知君） 宮下昌子君。

○9番（宮下 昌子君） 教育長、状態というのは分かるんですけども、その子供たちが学童で、学校から別な場所まで歩いて移動していかなければならないというのを、安全面など考えた場合の教育長の見解をお聞きしたいんですけど、難しいですかね。

○教育長（高倉 利孝君） 難しいですね。私もそこをちょっと歩いて通っておりませんので、本来なら、私は、やっぱり子供の校庭まで迎えに来て、そして、安全に連れていかれるのが1番いいんじゃないかなと考えますけど。

○議長（桑原 千知君） 宮下昌子君。

○9番（宮下 昌子君） そうですか。分かりました。安全に大人が連れて一緒に行けばいいんじゃないかということですけども、私としては、道路を渡るといってもありますし、雨が降ったりとかいろいろあると思いますので、本来であれば、学校の敷地内であるのが1番いいのかなと思います。量的にも質的にも整備拡充し、子供たちが安心して過ごせる学童保育にすることが行政の責任ではないでしょうか。ぜひ、事業者や支援員の声に耳を傾けていただき、子供たちにとって、どういうふうにするのが1番いいのか。よりよい学童にしていきたいと思います。

次に、包括的民間委託方針についてですけども、時間が大分押してきましたので、この包括的民間委託というのは、包括というのは全部ひっくるめてということですから、今、会計年度任用職員が約4割ぐらい上天草市はいらっしゃると思うんですけども、この会計年度任用職員の方たちを全て外部の業者に委託するという事業なんですね。これは、去年の10月に、そういう当事者の方に説明があったそうです。2回ほどあったそうですが、そのときにびっくりされて、私のところに電話がありました。私はそのことは全然知らなかったもので、聞いてないということをお伝えしました。議員さんも知らないのかということでもびっくりしておられたんですけども、その前に、会計年度任用職員の方たちに説明される前に、議会にもきちっと説明して欲しかったなと思います。その後、要請して、12月議会では説明がいただけました。

この民間委託を実施することになった経緯を簡単に教えていただけますでしょうか。

○議長（桑原 千知君） 総務部長。

○総務部長（山下 正君） おはようございます。よろしくお願いいたします。

包括的民間委託の方針を策定した経緯につきましては、本市におきましては、平成16年3月の市制施行以降、急激に人口減少が進んでおり、地方創生を基軸に、自立による持続可能な自治体を確立し、それを維持していく取組が必要となっております。今後、行政のスリム化を進めながら、健全な自治体経営を行うためには、デジタルトランスフォーメーションの推進や民間委託などに取組み、限られた職員でいかに地域活性化が図れるかが課題と捉えたところでございます。これらの課題を解決するためには、まず、職員が本来取り組むべき業務、これは、法令などの定

めにより、常勤職員が処理しなければならない業務になりますが、これに注力できる環境を整備する必要があると判断し、方針を策定したものでございます。

○議長（桑原 千知君） 宮下昌子君。

○9番（宮下 昌子君） 去年その電話がありましたので、それからいろいろ私も調べました。それで、職員組合の方にも聞いたりしたんですが、職員組合でもアンケートをとっておられました。そのアンケートの中を少し教えていただいたんですが、やはり不安に思っている人が多くいらっしゃるというのが分かりました。委託となった場合の職員の待遇ですとか、そういうことで不安に思っているということがアンケートにもありました。

今、市の正規職員の数はどんどん減って行って、先ほども言いましたけども、臨時職員が4割を超えています。正規職員が担うべき専門性と持続性が求められる職種にまで会計年度任用職員制度が用いられており、多くの会計年度任用職員が正規職員の補助的でない業務に従事しているのが現状なんです。

2021年には、会計検査院が民営化された国の27事業について検証しています。委託した場合の管理維持費が割高になったと報告しています。これは、日本自治体労働組合連合自治体の仲間という新聞に載っていました。既に、会計年度任用職員の仕事は正規職員の補助業務ではない。本来、社会保障分野や公共性の高い事業は利益を追求するものではありません。業者に委託して問題が起きている自治体もあります。実際に、委託になった場合、今のように机を並べて仕事をするのでしょうか。間仕切りをするのでしょうか。今現在、外部に委託している窓口業務の場合とは全然また変わってくるのではないかと思います。今日は、もう少し詳しくしたかったですけど、少し時間が足りなくなりましたので、端折ってしまいましたが、個人情報の保護という面とか、いろんな情報が市役所のそれぞれの課の中にはありますので、同じように机を並べて、外部の業者の社員となった方がするというのも、ちょっとどういうふうになっているのかなという不安はあります。そういうことをいろいろ考えますと、今回の民間委託方針は、私は撤回すべきではないかと思います。

市長、最後に、39秒しかありませんが、お願いします。

○議長（桑原 千知君） 市長。

○市長（堀江 隆臣君） 30秒ではちょっとお答え出来ないんですけども、今、一つの働き方改革の一環であるというのは間違いなくと思います。やはり合理的な行政運営とともに、職場環境の改善、あるいは、今は本当に残業とか有給休暇をとれない職員が多数いて、監査のほうからも、そこら辺の改善を実は求められてます。

職員の数が減っていたのは合併して数年で、今はもう減ってないんですけど、それでもどんどん事業が地方分権の一括法で事業がどんどん増えていく状況の中で、なおかつ、新しい事業に挑戦すれば、どんどんまた職員の仕事が増えていきます。そこら辺の改善をしていくために、手法の一つとして、私は、いわゆる外部委託というのがあると思います。ただ、外部委託も、今でさえ、人を確保するのは非常に苦勞しているんで、そのまま投げ出したところ

で、今度は委託先が苦勞するのは事実なんです。ですから、そこら辺の運営をやはり合理的にやっていくために、少しまとまった委託契約というのが一つ手法としてはあるかと思えます。

おっしゃるように、行政側も、今度は雇用される側も、今の職場待遇が悪くなるようでは、このやり方は絶対成立しないので、当然職場環境をさらによくするというか、今よりはよくなるということが一つの前提条件なので、こういった形で成立しないと私も決断は出来ないし、ただ、そういった形でやはり理解を求めていく努力をしていきたいなと思えます。

○9番（宮下 昌子君） 終わります。

○議長（桑原 千知君） 以上で、9番、宮下昌子君の一般質問は終わりました。

ここで、10分間休憩します。

休憩 午前10時42分

再開 午前10時50分

○議長（桑原 千知君） 休憩に引き続き、会議を開きます。

次に、15番、田中万里君。

○15番（田中 万里君） おはようございます。

議長のお許しが出ましたので、会派天政みらい、田中万里、一般質問を行いたいと思えます。

時間の制限がございますので、途中で時間等を見て割愛する場合もございますが、どうぞ御了承ください。

まず、初めに、サイクリングツーリズムのさらなる推進についてということで質問いたします。先月2月25日、天草未来大橋、本渡令和橋が開通しました。その開通の前に、さきの2月11日には、天草市において天草未来大橋の開通イベントが盛大に行われ、その一つに、供用開始の前に、橋を自転車で渡る体験イベントが行われました。そのイベントには、堀江市長をはじめ、元総務大臣金子代議士や馬場天草市長、熊本県の土木部長、天草広域本部の本部長をはじめ多くの関係者の参加があり、堀江市長、金子代議士、馬場市長においては、天草をサイクリングで盛り上げているあまいちサイクリングクラブのおそろいジャージを着用し参加されていました。その模様が新聞やSNSなどでも広く発信され、市民からは、改めて天草地域でのサイクリングツーリズムの官民挙げての機運醸成を感じることができたと声をいただきました。

国は、平成28年に、自転車活用推進法を制定し、化石燃料が不要でCO2を排出しない自転車の活用を総合的・計画的に推進していくこととしております。

本市においては、平成27年度から、行政と民間団体が一体となったサイクルツーリズムに着手し、様々な取組を実施しております。世界各国でSDGsの取組が加速する昨今、今後は、地域が一体となり、本市のサイクルツーリズムをさらにステップアップさせることが重要と考えております。

お尋ねいたします。ゼロカーボンシティを宣言した本市ならではの自転車を絡めたゼロカーボンの取組の考えについてお尋ねします。

○議長（桑原 千知君） 市民生活部長。

○市民生活部長（水野 博之君） おはようございます。よろしくお尋ねいたします。

本市では、令和4年6月23日に、ゼロカーボンシティ宣言を発出しておりますが、環境基本計画は、基本的な方向性を示すものであり、自転車を活用したゼロカーボンにつながる明確な方策は盛り込んでいないところです。ただし、庁内の各担当部署では、自転車が安全に通行できる道路、サイクリングコースの整備、レンタサイクル及びサイクルツーリズムの推進等に取り組んでいるところでございます。

令和5年度には、本市に合ったCO2削減対策を盛り込んだ環境基本計画の策定改定を予定しており、まずは、市職員へ自転車通勤の推奨を呼びかけ、移動手段に自転車を活用することは、CO2削減と健康的な生活の営みに通じるものとして、庁内のみならず、市民の皆様にも自転車の活用を推進していく所存でございます。

○議長（桑原 千知君） 田中万里君。

○15番（田中 万里君） ただいま部長からも答弁がありましたように、ゼロカーボンシティを宣言して、ただ、宣言しただけでなくて、やはり今答弁にもあったように、自転車活用ということで、CO2を排出しないような取組として一つ考えられるのが、月に1回、例えば、今、市役所の職員のことを言われましたけど、やはり月に1回、あるいは、月に2回と定めて、5キロ圏内の方は、自転車か徒歩で通勤をする。そこから始まって、市民のほう、議会にも理解を得て、そういう取組みをしていってはどうかと。そして、月に1回、例えば第2何曜日はそういう日だということを定めたらどうかと思います。今後、そういう取組を進めていっていただければと思います。

本市は、さきに述べたように、平成28年自転車活用促進法が制定される前の平成27年度から行政と民間団体あまいちサイクリングクラブが一体となったサイクルツーリズムに着手し、サイクリングを観光コンテンツの一つとして、国内外への情報発信、サイクリングコースの設定、休憩スポットの設置など取組を実施しています。県も広域本部ごとにサイクルツーリズムの推進団体を立ち上げ、道路改良や受入体制整備等に積極的に推進し、天草地域では、平成31年1月、県内では、人吉球磨地域に次いで2番目となる天草地域サイクルツーリズム推進協議会を設立し、官民共同で管内の環境整備をハード・ソフト面から進めてまいりました。

一方で、民間団体として、上天草市に拠点を置くあまいちサイクリングクラブが、九州各県から参加者を集めるイベントの実施や、台湾高雄市のサイクリング愛好家と草の根交流を実施継続する等積極的な活動を行っております。

これまで市が取り組んできた事業、ハード・ソフトの決算規模と、それに関わる国県等からの補助率・金額等についてお尋ねします。また、今後の情報発信、サイクリングコースの設定、休憩スポットの設置予定等についてお尋ねいたしたいと思っております。

○議長（桑原 千知君） 建設部長。

○建設部長（岩永 裕一君） おはようございます。よろしくお願いたします。

ハード面について、私のほうからお答えいたします。ハード面では、建設課において、これまで取り組んできた主な事業内容としまして、路側に自転車通行帯を示す矢羽根の設置及び既存の舗装の改修が必要な箇所は、路面の舗装の改修を行った上で矢羽根の設置を行っているところがございます。

各年度の事業実績としまして、令和3年度に、市道環状1号線ほか1路線を整備し、事業費が2,154万3,668円、補助金額1,254万円、補助率約58%。令和4年度に、市道田端船江線ほか3路線を整備し、事業費が2,882万3,599円、補助金額1,514万8,000円、補助率約53%となっております。この2か年の総事業費が約5,000万円で、このうち約3,600万円は道路舗装の改修費となっているため、自転車通行空間整備と併せて市民の生活の改善にも寄与でき、国の交付金につきましても、約55%交付されている事業となっているところでございます。

サイクリングコースについては、天草地域自転車ネットワーク計画により、市が施工する上天草市シーサイドサイクリングコース全長約30キロメートルのうち、令和4年度末まで約6.6キロメートルが整備済みで、整備率約22%となっております。

今後の整備計画についても、既存の舗装を改修しながらの整備となるため、しばらくは、既存のコースの整備に時間を要するものと見込んでおります。このため、現時点では、新しいコースの指定につきましては、計画はしていないところでございます。

○議長（桑原 千知君） 経済振興部長。

○経済振興部長（山本 一洋君） おはようございます。

私のほうからは、ソフト面について御説明させていただきますが、ある程度の事業内容につきましては、田中議員からお話がありましたので、決算額以降について御説明させていただきます。

28年度から今年度までの合計で1,965万円となっております。そのうち補助金を活用した金額は、平成28年度の地方創生交付金390万円、2分の1の交付となっているところでございます。

今後の情報発信につきましては、サイクル雑誌への記事記載やイベントを通したSNSでの情報発信のほか、観光おもてなし課で行っているアウトドアプロモーションにおいても、サイクリングは必ず取り入れているところでございます。今後も続けていく所存でございます。

サイクリストに必要な休憩スポット、いわゆるサイクルステーションの設置につきましては、市もいち早く重要性を認識し、沿道の飲食店へのサイクルラックの設置や、宿泊事業者に対し、自転車を屋内へ保管することに理解を求める取組を行ってきたところでございます。現在は、天草地域全体の取組としまして、熊本県天草広域本部と2市1町と民間団体等で組織するVISITあまくさ実行委員会におきまして、同様の取組を継続しているところでございます。

現時点で、サイクルラックの設置のほか、フロアポンプの設置、サイクリストへの水や氷の供給など、サイクルステーションとして何らかのサービスを提供している施設は、上天草市では

51か所、また、サイクリストを宿泊につなげるために取り組んでいます館内に自転車を持ち込める宿泊施設は、現在7施設で、うち5施設は客室まで持ち込むことが可能となっております。毎年、対応施設の充実を進めているところでございます。

○議長（桑原 千知君） 田中万里君。

○15番（田中 万里君） これまでこのサイクルツーリズム関連で、市道等も整備されるなど、市民生活の環境整備にも大きく寄与しております。しかし、一方では、このような本市のサイクルツーリズムは、阿蘇地域と並び県内では先行している印象であります。観光振興の点からは、宿泊客の増加へとつながるコンテンツまでは、まだ至っていないのではないかと思います。確かに、担当課においても、これまで様々な取組を行ってまいりました。平成30年度の弱虫ペダルとコラボしたプロモーション動画を作成したり、民間、そして、行政と一体となった取組は評価いたしますが、ただ、どうしてもさらなる費用対効果を生むためにも、今後、先ほど部長が言われたように、天草市や苓北町と連携すること。そして、さらに積極的な取組を進め、日帰りだけではなくインバウンドも含めた宿泊客の増加につながるような取組を強化していただきたい。

そこで、私も冒頭で申し上げたように、世界各国でSDGsの取組が加速する昨今、サイクリングへの注目度はますます高まってくると予測されます。本市のサイクルツーリズムをステップアップさせるためにも、地域おこし協力隊を採用したらどうかというような御提案をして、以前から御相談しておりました。今年度、当初予算のほうにおいて、その地域おこし協力隊の予算が計上されております。私がこの地域おこし協力隊に求めるものとして、やはりこのサイクリングツーリズム、いろいろと専門的な部分もあるかと思いますので、それを行政の職員がやるというのが、なかなか気持ちが分からない部分もあるんじゃないかと思うので、市職員の業務負担軽減にもつながるので、そういう部分も受け持ってもらおうと同時に、民間のあまいちサイクリングクラブと隊員を中心とした民間主導の仕組みをつくり上げることで、自走し、持続可能な取組となるかと思えます。

そして、やはり地域の子供たちへのサイクリングの楽しさ等を伝える。また、大人から子供まで地域が一体となった機動力のある事業として成長していくのではないかと思いますので、ぜひ、今回応募してますので、いろいろなルートを使ってすばらしい隊員を採用していただければと思います。よろしくお祈りします。どうでしょうか。

○議長（桑原 千知君） 経済振興部長。

○経済振興部長（山本 一洋君） 当初予算に、もう予算は既に計上しておりますので、議決いただきまして、4月から早急に募集にかかって、いい地域おこし協力隊を採用してまいりたいと考えております。

○議長（桑原 千知君） 田中万里君。

○15番（田中 万里君） それと、もう1点お尋ねしたいのが、自転車活用推進計画というのが、国県では、もう多分制定されているんじゃないかと思えます。今から多分地域おこし協力

隊を入れて、その部分を力を入れるのであれば、私が調べたところでは、まだ本市はその制定がされていない。その部分についても、ぜひ、横のつながりを持って、課同士の建設課がするのか、経済振興部がするのかという部分があるかと思うので、その辺の計画は今現在どうなっておりますでしょうか。

○議長（桑原 千知君） 建設部長。

○建設部長（岩永 裕一君） 計画につきましては、今、議員が述べられたとおり、ソフト面とハード面の両方がございますので、まだ本市は策定しておりませんので、今年度中に策定を目指して取り組んでいきたいと思っております。

○議長（桑原 千知君） 田中万里君。

○15番（田中 万里君） 今年度中は、あと数日しかないので無理なので、来年度中にはぜひ策定して、そして、また地域おこし協力隊も入ることで、民官ともに、ぜひとも子供たちにその楽しさというのを伝えていただきたいと思えます。海と山、上天草市には最高な自然環境がございます。このすばらしい自然環境を観光客はもとより、1人でも多くの地域住民が自転車を通じて健康的で豊かな時間を過ごすことができる環境づくりがSDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業に選定され、かつ、ゼロカーボンシティを宣言した本市にふさわしい観光かけるサイクリングの事業であると思われま。

そして、他の市町村に先行し、早くからサイクルツーリズムを推進した堀江市長の先見の明にも、今後の大きな期待をしておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

では、続きまして、次の質問に移りたいと思えます。

市長マニフェストの令和5年度予算への反映についてということで質問事項を記載しております。令和5年度の予算案が今議会に計上されました。先ほどの宮下議員からもちょっと触れられましたが、総額約210億円の計上は、合併後、初めての額であるかと思えます。その詳細を確認する合併特例債の活用時期の最終年度となるということで、福祉の向上、地域課題の解決、持続的なまちづくりを可能とするための将来を見つめた予算案ではないかと私なりに感じております。

しかしながら、今期の予算案は、11月に行われた市長選挙後初の当初予算でもあります。議員はもとより、市民も、市長が選挙で訴え、その訴える前のマニフェストづくりには、市民の多くの声を聞かれて、そして、そういうのも含めて明日を切り拓くべきマニフェストを作成されたと思えます。その第一歩である今回の予算案、注目度もこれまで以上と感じております。

そのような中、今回私が質問するのは、4つの約束ということでされておりましたが、私は、特に、この子育て関係についてお尋ねしたいと思えます。

未来を生きる子供たちのために、4つの約束の中の1から6までございます。1、義務教育課程の給食費の負担軽減、2、第2子の保育料の完全無料化の実施、子育て世帯への段階的な経済支援、オンラインによる塾講座の開講と支援、防犯カメラ設置等の強化と通学路等の交通安全プログラムのさらなる推進、支援を要する子供たちの環境整備でございます。

来年度の予算に反映されている点は、マニフェスト、あるいは、予算書を見て分かっておりますが、まず、その部分について、どのように反映されているのか、お願いいたします。

○議長（桑原 千知君） 総務部長。

○総務部長（山下 正君） よろしくをお願いいたします。

さきの市長選挙におきまして、市長が掲げられた市民の皆様との4つの約束のうち、未来を生きる子供たちのためにに関連する令和5年度当初予算といたしましては、まず、1点目、義務教育課程の給食費の負担軽減、これが2,219万8,000円。2点目、第2子の保育料の完全無償化、1,054万4,000円。3点目、オンライン塾講座の開講と支援、これが86万8,000円。4点目として、防犯カメラ設置強化と交通安全プログラムの推進、6,660万円。5点目、支援を要する子供たちへの環境整備が8万円など、計約1億円を計上したところでございます。

なお、施政方針でも市長が申されたとおり、子供の成長に伴い経済的負担が増加する小・中学校入学時の支援金等の支給を含む市独自の様々な子育て支援策についても、国の子ども・子育て政策の動向を注視しながら、令和5年度中の実施に向けて検討を進めてまいりたいと考えているところでございます。

○議長（桑原 千知君） 田中万里君。

○15番（田中 万里君） 今、まとめて総務部長から答えられましたが、義務教育等の給食の負担軽減については、昨今のこの価格の高騰で、様々な部分で保護者は大変苦慮している部分もでございます。それに併せて今回なされるということで大変私もありがたく思っております。その部分について、教育委員会のほうでは何かございませんか。

○議長（桑原 千知君） 教育部長。

○教育部長（赤瀬 耕作君） よろしくをお願いいたします。お答えいたします。

具体的な内容についてでよろしいでしょうか。

○15番（田中 万里君） はい。

○教育部長（赤瀬 耕作君） 義務教育課程の給食費負担軽減につきましては、令和4年度も実施した給食材料費の物価高騰に係る支援と、令和5年度からの取組である多子世帯への給食費の負担軽減を目的に予算を計上させていただいています。

物価高騰に係る支援につきましては、昨今の物価高騰により、子育て支援世帯の経済的負担が増大していることから、給食材料費の物価高騰分に係る支援として、全ての児童生徒に対し、月額500円、年間5,500円を補助することとし、予算885万5,000円を計上しております。

また、多子世帯の給食費の負担軽減を図るため、市内の小中学校に在籍する児童生徒の第2子以降に対して、給食費の2分の1相当額を補助する予算1,334万3,000円の合計2,219万8,000円を予算計上し、令和5年度から、子育て世帯の負担軽減を進めることとしております。

○議長（桑原 千知君） 田中万里君。

○15番（田中 万里君） 今回、無償化とはなりませんでしたが、やはり子供が食べる分なので、段階的にいいんではないかと思えます。

続いて、第2子の保育料の完全無償化の実施ということで、今回、無償化について予算も計上してございますが、その部分について、本当にこれは子育てをする保護者にとってはありがたいものかと思えます。やはりなかなか昔はそれが当たり前だったとよく言われますが、今は子育て世代は大変お金がかかる中で、そういう支援、また、マニフェストに約束として即実行していただいたことに感謝申し上げます。

続いて、子育て世代への段階的な経済支援ということで、聞き取りによりますと、マニフェストの中でも、小学校に入る前と中学校に入る前に優先して支援を行うというようなことを聞いております。私が申し上げたいのが、保育園・小学校・中学校、そういう支援をなされる中で大変ありがたいです。実を言うと、もうここに座っておられる執行部の方たちもお分かりのように、やはりこの高校に入学するとき、大学に入学するときも、やはり経済的な負担が随分かかります。その部分についても、大変財政的に厳しい部分もあるかと思えますが、今後、やはり子供たちを育てる、未来の子供たちのためにも投資ということで考えて推進していただければと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（桑原 千知君） 健康福祉部長。

○健康福祉部長（濱崎 裕慈君） 子育て世帯への支援につきましては、基本的には、児童福祉法に定められた満18歳までということで考えております。先ほど議員も申されたとおり、今回の給付金等の支給につきましては、義務教育機関までの子供を養育する保護者の負担を軽減するためということで、まずは、小中学校入学時を優先して支援を行いたいと考えております。

議員御提案の高校入学時の給付金の支給等につきましては、上天草高校への支援や奨学金制度などがございますので、他の施策等も勘案しながら、その必要性について、今後検討をしていきたいと考えております。

○議長（桑原 千知君） 田中万里君。

○15番（田中 万里君） なかなか上天草高校との絡みもございます。先日の総務委員会の中でも申し上げましたが、どちらを先にするかということと、もう1点分かっていたきたいのが、なかなか上天草高校に行っていない子供で、地元に住所を置いて、地元で生まれ育った子供たちがたくさんいます。そういう子供たちも、自分たちの夢を叶えるために、あるいは、熊本市、上天草市以外の高校に行って頑張っております。そういう子供たちにも、ぜひ、将来を見つめて支援等がなされれば、本当に子育てに特化した上天草市になるのではないかと思います。

続いて、オンラインによる塾講座の開講と支援について、先ほど総務部長がまとめて言われましたが、その部分についてもお尋ねいたします。

○議長（桑原 千知君） 教育部長。

○教育部長（赤瀬 耕作君） よろしくお願いたします。

オンラインによる塾講座の開講と支援につきましては、目標とする学校への進学に挑戦しようとする生徒に対し、オンライン学習を実施し、公共施設や家庭学習等で活用できる環境を整備す

ることにより、学習意欲を高め、学力向上を図ることを目的とし実施するもので、受験対策として中学校3年生を対象にインターネットを利用した双方向の形態でのオンライン講座を予定しており、事業費を86万8,000円を計上しておるところでございます。

なお、実施時期につきましては、夏休み期間の夏季集中講座を行うこととしており、今年度は、令和5年度の実施状況や内容等を検証し、以降も継続したいと考えております。

○議長（桑原 千知君） 田中万里君。

○15番（田中 万里君） これも早速進めていただいている点に敬意を表します。夏休み期間を集中的に行うというようなことでございます。ぜひ、大矢野地区においては、夏休みまでは間に合いませんが、もう10月以降は図書館もでき上がります。そういうところでも冬休み、あるいは、松島・姫戸・龍ヶ岳においても、Wi-Fiが学校等が十分になっておりますので、そういうのをぜひ活用していただきたい。

そこで、例えば、自宅でインターネット塾を、オンラインの塾を受ける場合のちょっと心配するのが、自宅にWi-Fi環境がない子供もいるかと思うんですよ。それと同時に、今1人1台のタブレットを学校で貸与されております。やはりそういうのを持ち帰って、一石二鳥で活用できるような仕組みもつくっていただければと思いますが、その部分についていかがでしょうか。

○議長（桑原 千知君） 教育部長。

○教育部長（赤瀬 耕作君） 今、教育委員会で調査しているところで、Wi-Fi環境が整っている家庭が大体90%程度上がってきているところでございます。このことを鑑みて、基本的な基礎学力の定着に向けた取組を進めるべきということで、家庭学習を推進して、令和5年度には、児童生徒に配置したタブレットの持ち帰りを想定した新たな学習用ソフトの導入を進めておるところでございます。

また、社会教育活動において、地域人材を活用した地域未来塾を開設し、学校活動以外での基礎学力の向上に向けた取組を実施しており、導入した学習ソフトを活用することにより、より効果的な基礎学力の定着が図られると考えております。

○議長（桑原 千知君） 田中万里君。

○15番（田中 万里君） ぜひ、この部分については、デジタル化を目指している本市にも、やはりモデルになるような教育と、そういうデジタルを絡めた取組として、例えば、今の熊本市内、都市部の地区等はオンライン塾というのを既に開校しております。というのが、上天草市にいても、そのオンライン塾を利用して、都市部の大学生の教師を目指す大学生から、そういう勉強が教えてもらえるような環境等、そういうのも今後必要じゃないかと思えます。ぜひとも、この上天草市にいても、いろいろな部分で学力の向上、基礎学力をはじめ、進学等にもつながるような取組を行っていただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

続きまして、防犯カメラ設置等の強化と通学路等の交通安全プログラムのさらなる推進ということで通告書に記載しておりますが、この部分については、もう今は学校等でも、不審者対策とか、あるいは、夜に学校に誰かが侵入してきた等で学校に設置してあるところもでございます。全

てではございませんが、その部分でちょっとお尋ねしたいんですけど、以前、私、この場で申し上げたんですけど、学校の正門裏門出入り口には、この監視カメラが必要ではないかと思えます。いろいろ何かがあったときは、大変そこで分かる部分もございますので、その部分については、どのように考えていらっしゃるでしょうか。

○議長（桑原 千知君） 教育部長。

○教育部長（赤瀬 耕作君） 学校施設の防犯カメラの設置については、不審者の侵入の記録など、犯罪捜査はもとより、その抑止効果も期待されることから、児童生徒や学校関係者の安全確保に有効であるということは認識しております。先ほど議員おっしゃったとおり、各学校にいろいろ問題等が発生した事案もございまして、学校に防犯カメラを設置した学校もございませぬ。このことから児童生徒等の安全性の確保の観点から防犯カメラの設置が必要となる場合は、学校長と十分協議を行いながら速やかに設置していきたいというふうに考えておるところです。あと、玄関等への設置についても、学校長あたりと校長会等でちょっとお話をしながら検討を進めていきたいと考えております。

○議長（桑原 千知君） 田中万里君。

○15番（田中 万里君） 今回の部分は、学校の部分で、私がもう1点ぜひとも強化していただきたいのが、子供たちの通学路に対してです。これは、交通安全プログラムにも多分関わることかと思うんですけど、総務部で、この防犯カメラの設置については補助金を出すようになっておりますが、なかなかやっぱ地域と学校との連携を持ってすることがハードルが高い部分もございませぬ。

例えば、PTAとか保護者、あるいは、交通指導員の中では、やはりこの通学路に地域の理解を得てカメラを設置するべきじゃないか。ところどころに設置するべきじゃないか。特に、4月、小学校1年生が入学した際には、やはり歩いて帰る際に車との接触事故等が起こります。御存じのように、子供は車とちょっと接触すれば、自分が悪いと思って謝るんですよ。そして、家に帰って、今度は、お母さんにこうやって車でぶつかってけがをしたとか後から分かる場面もありますので、ぜひともその部分は教育委員会と、今、防犯カメラの設置要綱の補助金を出している総務部とも横の連携を持って、どうか子供たちが安心安全に通学できるような環境というのを整えていただきたいと思いますので、ぜひともよろしく願いいたします。それと、もう時間がございませぬので、その部分について、何か見解ございませぬか。

○議長（桑原 千知君） 教育部長。

○教育部長（赤瀬 耕作君） 交通安全プログラムの担当を教育委員会がしております関係上、各危険箇所等につきましては、いろいろPTAも含めてその情報収集を行っているところです。防犯カメラの必要性も当然その中で案件が上がってきましたら、そういう担当部局と情報共有を図りながら、内容についての検討を進めたいと考えております。

○15番（田中 万里君） 総務部長、いいですか。何か今手を挙げましたが。

○総務部長（山下 正君） 教育部長が申し上げたこととおおむね変わりませぬが、危機管理

防災課も災害の部分も含めて、災害防犯等で情報収集が必要な場所については、カメラ設置に向けての検討は進めてまいりたいと考えております。

○議長（桑原 千知君） 田中万里君。

○15番（田中 万里君） ぜひとも、子供たちのためにもよろしくをお願いします。

それと、もう1点、先ほどオンライン塾について申し上げましたが、やはりこういう費用をかけるのであれば、目標も定めないといけないと思います。ぜひとも、こういう教育部門に費用対効果の部分で、今どうしても学力の点で上天草市の学力は全国テストとか様々な部分で下のほうになるんじゃないかと思います。その目標額を上げて、例えば、県内ベストスリーとか、あるいは、そういうのを目指していただければと思います。

それと、余談になりますが、先日、私と同世代の方と話していたときに、実は、その方は、上天草市を出て違う地域に引っ越しをされました。引っ越しをされたのが約3年ほど前ですね。それまで上天草市で子供を育てていらっしゃったときに、上天草市は子供の医療費が18歳まで無料化、そして、そのときに、高校生や大学生になるときの奨学金制度等も2万円から3万円というのが広報等であったと、知っていたと。それで、よそに引っ越したときに、よその市もあるものだと思って相談に行ったそうです。そうしたら、全くそういう奨学金制度等がなかったと。よそに行って、当たり前だと思っていた制度が、上天草市独自でされていたと。大変上天草市は、この子育てや教育に対して力を入れていると。ぜひ、将来的には、また上天草市に帰ってきたいというような声をいただいたときに、私は、本当にいろいろとこの議場で訴えてきてよかったなと思いました。ぜひとも、確かにお金がかかる部分がたくさんございますが、子供たちの将来、親ならば子供たちの夢が叶うために、いろんな苦勞を伴って子供のことに対してはやっていくと思いますので、そういう姿勢であっていただきたいと思います。

今後も、市長のマニフェストの実現のために、未来を生きる子供たちのために、どうぞよろしくをお願いいたします。

○議長（桑原 千知君） 以上で、15番、田中万里君の一般質問は終わりました。

ここで、10分間休憩します。

休憩 午前11時30分

再開 午前11時40分

○議長（桑原 千知君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

3番、木下文宣君。

○3番（木下 文宣君） おはようございます。

3番、木下です。議長のお許しをいただきましたので、一般質問を行いたいと思います。

今回は、主に、姫戸地区の振興策について質問を行いたいと思います。質問に入ります前に、

令和3年9月の定例会一般質問において、表彰条例について、本条例を積極的に運用していただくようお願いいたしました。が、本年度になり、運用がなされましたことに対しまして感謝を申し上げます。この善行表彰を機に、今後、市民の皆さんも積極的に地域貢献等に取り組んでいただき、地域振興が図られることを期待します。

それでは、質問に入ります。初めに、永目地区水面埋立て用地についてでございますが、この埋立て地は、現在、住宅用地として制限がかかっておりますが、いつ用途制限が解除となるのか、お尋ねいたします。

○議長（桑原 千知君） 企画政策部長。

○企画政策部長（坂田 結二君） よろしくお尋ねいたします。

永目地区の公有水面埋立て地の住宅用地につきましては、埋立て免許取得時の土地利用計画におきまして、用途を住宅用地として設定をしているところでございます。公有水面埋立て地内の土地の用途を変更する場につきましては、公有水面埋立法におきまして、竣工認可の告示日より起算しまして10年以内に埋立て地を告示した用途と異なる用途に供しようとするときは、公用または公共の用に供する場合を除き、県知事の許可を受けなければならないと定められております。

当該埋立て地につきましては、平成25年6月13日に竣工認可の告示がされておりますので、令和5年6月12日までの用途変更の規制を受けることとなります。また、その翌日の令和5年6月13日から、県知事の認可が不要となるところでございます。

○議長（桑原 千知君） 木下文宣君。

○3番（木下 文宣君） 今年の6月に解除予定であるようでございますが、令和3年9月定例会で、私、当該用地の利活用推進について質問いたしました。が、執行部の答弁では、関係課PTを設置し、利活用について整理しているとのことでしたが、その後の状況はどうなっているのかお尋ねいたします。

○議長（桑原 千知君） 企画政策部長。

○企画政策部長（坂田 結二君） 住宅用地の利活用につきましては、令和4年6月の定例会においても答弁をさせていただいております。令和3年度に、関係課プロジェクトチームを設置しまして協議を重ねた結果、民間への貸付け用地として活用することとしたところでございます。

民間への貸付け用地としまして活用を検討するにあたりましては、民間事業者が持つ様々な知識やノウハウを活用しまして、さらなる市民サービスの向上や地域の活性化につなげていくため、今年度でございますけれども、市のホームページにおきまして、サウンディング型市場調査に参加する事業者を募集をしたところでございます。

○議長（桑原 千知君） 木下文宣君。

○3番（木下 文宣君） ただいまサウンディング型市場調査を募集されたようでございますけれども、結果はどうなったのか、お尋ねをいたします。

○議長（桑原 千知君） 企画政策部長。

○企画政策部長（坂田 結二君） 令和4年6月21日から7月15日の間でございますが、参加申込み期間を設けております。残念ながら、サウンディングへの応募事業者はいなかったところでございます。令和5年度におきましても、周知の方法等を見直しまして、再度、サウンディング型市場調査というのを実施することと考えております。

○議長（桑原 千知君） 木下文宣君。

○3番（木下 文宣君） 具体的な活用案は、まだ決まっていないと受け止めました。

そこで、私なりに一つの提案をいたしたいと思います。それは、グラウンドゴルフ場として整備してはどうかと思います。単なるグラウンドゴルフ場ではなくて、人工芝を張りめぐらし、左右ドッグレッグあり、砲台グリーンあり、バンカーありなどの非常に面白いグラウンドゴルフ場です。一般的なグラウンドゴルフ場は県内にもたくさんありますが、ユニークなグラウンドゴルフ場をつくれば、多くの人を楽しみに来てくださると思います。グラウンドゴルフの愛好者は、全国で360万人、また、熊本県では、協会の登録者が8万6,000人のようです。答弁をお願いいたします。

○議長（桑原 千知君） 企画政策部長。

○企画政策部長（坂田 結二君） 議員御提案の特徴のあるグラウンドゴルフ場の整備につきましては、令和5年度におきまして、再度サウンディング型市場調査というのを実施することとされていることから、当該サウンディングの中で参加事業者と意見交換を行う際の参考とさせていただきますと考えております。

○議長（桑原 千知君） 木下文宣君。

○3番（木下 文宣君） 面白いグラウンドゴルフ場が整備されれば、観光振興も含めて、いろいろな面で上天草市の振興が図られると思いますので、よろしく願いをいたしたいと思えます。

次に、夢のような提案をいたしたいと思います。それは、武道館の建設です。上天草市には武道館がありません。姫戸地区の本郷に広大な敷地があります。そこにプロの方のコンサートもできる日本武道館規模の施設をつくってみたらと思いますが、そのような考えはないか、お尋ねいたします。

○議長（桑原 千知君） 教育部長。

○教育部長（赤瀬 耕作君） よろしく願いいたします。

姫戸地区の振興策に関する武道館建設計画の御提案でございますが、本市は、大矢野体育館、松島総合公園アロマ、姫戸体育館、龍ヶ岳体育館など、旧町単位で整備されたある程度の規模を持つ社会体育施設を有しており、武道館等への対応については、既存の体育館等の活用が可能であると考えております。これらの施設のそれぞれが改修時期を迎えており、現在、長寿命化計画を策定し、施設の適正管理を実施していく予定であり、施設マネジメントの観点を踏まえ、新たに社会体育施設としての武道館を建設する計画はございません。

以上でございます。

○議長（桑原 千知君） 木下文宣君。

○3番（木下 文宣君） 上天草市第2次総合計画も5年度で終了し、今後、第3次総合計画が予定されておりますが、その計画に盛り込んでいただけたらと思っております。私の思う武道館は、単なる武道館でなく、避難所としても活用できると思っておりますので、よろしく検討のほどお願いいたします。

○議長（桑原 千知君） 教育部長。

○教育部長（赤瀬 耕作君） お答えいたします。御存じのとおり、総合計画は個別の施設整備計画ではなく、市全体としての施策や取組をお示しするもので、御提案の内容等につきましては、総合的な社会体育施設の在り方として記載されるものと考えております。先ほど申し上げましたとおり、今後、社会体育施設については、公共施設マネジメント計画に基づく改修を予定しており、その中では、避難所等を想定したバリアフリー化等も検討されることとなります。このことを踏まえ、教育委員会といたしましては、まずは、ポストコロナ、アフターコロナを見据えた既存施設の適正管理並びに利活用を推進してまいりたいと考えています。

以上でございます。

○議長（桑原 千知君） 木下文宣君。

○3番（木下 文宣君） 執行部の答弁は、ゼロ回答と受け止めました。それでは、武道館が難しいのであれば、何か姫戸町の振興策について、市長に思いがあれば、お聞かせをいただきたいと思っております。

○議長（桑原 千知君） 市長。

○市長（堀江 隆臣君） 地域の振興策についてということなのですが、何をもって振興というか、いろいろお考えはあるかと思うんですが、やっぱり地域を継続していくために、地域の運営に必要なある程度の人口を維持していくためには、やっぱりそういうことが一つの振興というふうにとらえるならば、本当にある程度の人口が住める地域でありながらも、なおかつ、そういった方々が雇用であったり、仕事であったり、学校であったり、福祉サービスであったり、そういう生活圏を確保するというのが一つの条件だと思っております。

後ほど御質問もあるかと思うんですが、ある程度人口を確保していくと考えるなら、やはり僕は姫戸とか龍ヶ岳地区については、もう災害後50年経つ災害移転団地のリノベーションが一つのポイントになるんじゃないかなという思いでおります。特に、姫戸の災害移転団地というのは、いわゆるコミュニティプラントもありませんで、特に、公営住宅は、いまだに汲み取り式の建物が多く残ってます。そういったところをリノベーションしていくためには、やはり新しい公営住宅として再生して生活環境を変えていくというのが一つ方法、ポイントだと思っております。

もう一つは、今度の予算編成の中で、白嶽森林公園の整備の事業費も含まれているんですが、それだけではなくて、そういうのをきっかけに人が来てもらう。あるいは、宿泊してもらう、食事をしてもらう、そういう連携をしていって、また新しい仕事の創出を検討していくというのも、

一つの方法。

もう一つは、今、木下議員がおっしゃったように、武道館をつくる。いわゆる日本武道館級の建物をつくるというのは、ちょっと非常に厳しいかと思うんですけど、ただ、御提案のように、屋外型のこれからの生涯スポーツの拠点という考え方では、私は、可能性は十分あり得ると思っております。ですから、グラウンドゴルフの整備が、具体的にどういったのが今1番求められてるかというのは、今私ではまだちょっと勉強不足なんですけど、多くの方々が来て、そして、健康で長生きができるような、そんな手頃な運動ができるスペースをつくっていくというのは、ああいった地域でも十分果たせるんじゃないかなという思いでおりますので、そういった考えで今のところおります。

○議長（桑原 千知君） 木下文宣君。

○3番（木下 文宣君） 市長の思いが分かりました。姫戸地区の振興についても、よろしくお願いをいたしたいと思えます。

次に、第2次上天草市一般廃棄物処理計画についてお尋ねいたします。

計画に掲げている生活排水処理率の数値目標は、平成31年度の55.1%を、令和7年度には64.3%に上昇させるとしておりますが、具体的な取組内容と現在の成果について、お尋ねいたします。

○議長（桑原 千知君） 建設部長。

○建設部長（岩永 裕一君） 令和3年度末現在の本市の生活排水処理率は58.5%となっております。平成31年度からの2年間で3.4%向上しております。このままの上昇率でいきますと、令和7年度には、目標値の64.3%に達成する見込みとなっております。

現在、処理率の向上を目指し、公共下水道区域やコミュニティプラント区域では、加入促進を行い、他の地区におきましては、合併浄化槽設置の普及に取り組んでいるところでございます。その一環として、上天草市浄化槽設置整備事業を実施しており、合併浄化槽を設置される方に対し、補助金を交付しており、市民に事業に係る周知を行いながら生活排水処理率の向上に努めているところでございます。

以上でございます。

○議長（桑原 千知君） 木下文宣君。

○3番（木下 文宣君） 現在のところ、目標に達していると聞いて安心いたしました。令和12年度の最終目標まで、今後もしっかり取り組んでいただきますようお願いいたします。

次に、生活排水を適正処理するため、姫戸町二間戸団地アパートにコミュニティプラントを計画してみてはどうかと思いますが、そのような計画はないか、お尋ねいたします。

○議長（桑原 千知君） 建設部長。

○建設部長（岩永 裕一君） コミュニティプラントは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、市町村が定める一般廃棄物処理計画に沿って設置する、し尿及び生活排水を併せて処理する施設のことであり、上天草市においては、龍ヶ岳町の災害移転住宅団地に10か所整備

されております。

現在、市営二間戸団地の生活排水処理につきましては、全9棟、40戸全て汲み取りで処理を行っている状況でございます。第2期上天草市公営住宅長寿命化計画では、市営二間戸団地には、コミュニティプラントの新規設置を謳い込んでおりませんが、居住性の向上及び環境への配慮等から、二間戸団地のみでなく、公共下水道や合併浄化槽が設置されていない市営住宅全体について、今後、コミュニティプラント、または、合併浄化槽の設置による生活排水の処理を検討する必要があると考えております。

ただし、生活排水処理施設等の設置にあたっては、住宅改修に伴う構造面の安全性や敷地の確保、維持管理にかかる入居者の費用負担増などの多くの課題が考えられるため、それらの課題を一つ一つ解決しながら、設置に向けた取組を進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（桑原 千知君） 木下文宣君。

○3番（木下 文宣君） 御承知のとおり、トイレは汲み取り式になっております。空き家になっても入居者も少ないようであります。環境面もあるのではないかと思います。現在、入居しておられる方、また、新規入居者の方のために、財政的な面もありますが、御一考をお願いいたします。

生活排水処理対策については、先日の市長の施政方針で、県内でも下位に位置する汚水処理人口普及率の向上につなげてまいりたいとの意気込みが語られました。その一環として、コミュニティプラントの建設についても取り組んでもらいたいと思います。

最後になります。市は、県道松島馬場線の改良工事の進捗状況を把握しておられるのか。また、把握しておられる場合、その状況はどうなっているのかをお尋ねいたします。

○議長（桑原 千知君） 建設部長。

○建設部長（岩永 裕一君） お答えいたします。

主要地方道路松島馬場線は、上天草市松島町今泉から天草市栖本町馬場までを結ぶ延長22.9メートルで、特に、教良木地区住民の生活道路として重要な路線となっております。

改良工事の進捗状況としまして、上天草市の延長13.3キロメートルのうち、改良済みは約7.4キロメートル、改良率は約56%となっております。現在は、教良木持田地区大山工区の事業に着手しており、用地取得を進めながら、取得済みの箇所について改良工事が進められているところでございます。

○議長（桑原 千知君） 木下文宣君。

○3番（木下 文宣君） 把握しておられるということでしたので安心いたしました。大山工区でクラックが発生したようですが、この工区の危険箇所について、県はどのような対応を行われる予定か、分かっている範囲内でお願いをいたしたいと思います。

○議長（桑原 千知君） 建設部長。

○建設部長（岩永 裕一君） 大山工区の道路に発生しておりますクラックにつきましては、道

路管理者である熊本県天草広域本部土木部に確認したところ、令和3年3月に竣工した道路拡幅部工事の盛土部分と、現道部の境界付近でひび割れが発生しているのを、同年6月に、現地で確認していると報告を受けております。その後、県におきまして、ひび割れ箇所及び法面に雨水等が流れ込まないように、ひび割れ部位へはアスファルトの充填や土嚢を設置し、道路パトロール時にひび割れの状況を監視し、必要に応じ補修を実施しているところでございます。

今後の対策としまして、現在まで対策工法の選定を終え、令和5年度に、ひび割れの原因と思われる地下水の影響を軽減させるための排水ボーリング工を実施する予定と確認しているところでございます。

以上です。

○議長（桑原 千知君） 木下文宣君。

○3番（木下 文宣君） 県管理の道路ではありますが、一日も早く危険箇所の解消に向けて、県のほうに働きかけていただきますようお願いいたしまして、私の一般質問を終わります。

○議長（桑原 千知君） 以上で、3番、木下文宣君の一般質問は終わりました。

以上で、本日の日程は全部終了いたしました。次の本会議は、3月14日午前10時から行います。

本日は、これで散会いたします。お疲れさまでした。

散会 午前12時00分